



タートルアイランド全景



その1

総務部

沖縄コミュニティ・アイランド事業

沖縄県は、広大な海域に数多くの離島が点在する島しょ県であり、沖縄県の振興開発を進める上で、離島の振興は最も重要な課題の一つとなっています。

このため、沖縄開発庁では、現在第三次沖縄振興開発計画に基づき、離島の持つ特性と住民の創意を活かして活力ある地域社会を形成するための諸施策を積極的に進めているところです。

「コミュニティ・アイランド」事業は、離島の特性を活かした観光・レクリエーション施設等の整備を行い、他地域の人々との交流を推進し、明るい開かれた「コミュニティ」の形成に資することを目的に平成二年度から実施されているもので、九年度からは従来の施設整備事業に加え、新たに「イベント等を通して他地域との交流の推進を図ることを目的とした「沖縄離島交流推進事業」を実施するなど、その拡充が図られているところです。

ここでは、平成十年度及び平成十一年度の事業として実施された久米島仲里村「タートルアイランド」について紹介します。

久米島仲里村「タートルアイランド」

仲里村は、久米島の面積の約三分の二を占め、さとうきび栽培を中心とした農業を基幹産業としており、特産品として、泡盛、久米島紬、水産物のクルマエビなどがあります。特に、十五世紀から生産されたといわれる久米島紬は、化学染料を一切使わず、泥染めや草木染めによって生まれる独特の色合いに特徴があり、全国的にも名高いものがあります。

また、自然景観にも恵まれ、「イブイチ」や「ハテの浜」、「曇石」などの観光名所も豊富にあり、多くの観光客が訪れています。

「タートルアイランド」は、曇石で知られる奥武島において整備されています。

奥武島は、昔からウミガメの産卵場所としても知られており、この事業は、このような地域特性を活かし、世界の亀を集めた展示館（亀の館）を中心に浦島太郎と竜宮伝説をイメージした「タートルアイランド」として整備されています。総面積は十六四五一で、亀の館を始め、浦島館（レ

ストラップ・売店）、多目的広場等の施設が整備され、恵まれた自然環境を活用し、観光客の増加を図ると同時に地域住民の憩いの場として地域活性化に大きく寄与するものと期待されています。



浦島館



多目的広場